

| 個別の知識や技能 （何を知っているか、何ができるか） | 思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 （知っていること・できることをどう使うか） | 学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの （どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか） |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け ・言葉の働き、役割 <ul style="list-style-type: none"> 言葉の働き、役割（例えば外国語と比較して） 言葉の働き、役割（主に効果的な使い分け） ・書き言葉（文字）、話し言葉、言葉の位相 <ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、ローマ字、学年別漢字配当表 日常生活で使われる敬語、方言と共通語の違い 学年別漢字配当表、大体の常用漢字 時間の経過による言葉の変化 常用漢字 ・語、語句、語彙 <ul style="list-style-type: none"> 主に具体的な事象を表す語句 主に抽象的な概念を表す語句 単語の類別と働き 社会性・専門性の高い語句、思考・思索の深化につながる語句 類義語、対義語等の語彙の体系的理解 ・文の成分と構成 <ul style="list-style-type: none"> 主語・述語、修飾語・被修飾語の関係 基本的な文の構成 多様な文の構成、文の成分の順序や照応 ・文と文の関係、段落と文章の関係 <ul style="list-style-type: none"> 指示語、基本的な接続語（順接、逆接など） 接続語等を要しない文と文との関係 ・文章全体の構造 <ul style="list-style-type: none"> 文章の基本的な構成や展開 多様な文章の種類と典型的な構成や展開 文章の独創的な構成や展開 ・表現の工夫（修辞など） <ul style="list-style-type: none"> 擬人法、比喩、反復など 書き出しや結びの工夫など 表現の技法の使い分け 文章の種類に応じた表現の仕方 多様な文体の効果と使い分け | <p>テキスト・情報を理解する力、文章や発話により表現する力</p> <p>【創造的思考（とそれを支える論理的思考）の側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報を多角的に吟味し、構造化する力 <ul style="list-style-type: none"> 事実と意見の区別や情報と情報の関係性について、見出しや文頭の語句、接続語などを手掛かりに考え、内容や大まかな展開を捉える力 目的に応じ、順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力 情報の信頼性・妥当性、情報と情報の関係性等を根拠に基づいて検討し、内容や展開を解釈したりする力 目的に応じ、伝達の効果を考え、情報を整理・構成し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力 テキスト（音声、文字、映像等を含む）の内容や展開、それらに含意された意味を、論理や既有知識に基づいて、吟味、補足、精緻化を行い、解釈する力 情報の質と量に関し、情報の信頼性・妥当性や論理性、目的との整合性等を考察し、情報を整理・構造化して表現する力 ➤ 構成・表現形式に対して評価する力（ ） <ul style="list-style-type: none"> 構成・表現形式に対して、自分の考えをもつ力 構成・表現形式を根拠をもって評価し、自分の表現に生かす力 他の構成・表現形式と比較しながら、その妥当性や効果を評価する力、表現行為を行いながら、相手の反応や状況に応じてより良いものに改善する力 <p>【感性・情緒の側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力 <ul style="list-style-type: none"> 体験的・感覚的に言葉を捉えて感じたり想像したりする力 自分の思いや感情をありのまま、言葉にする力 テキスト・情報に表された世界を、言葉の意味や文章の展開を手掛かりに、感じたり想像したりする力 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語を通じて、自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度 ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度（自分の感情をコントロールしようとする態度） ・言葉には、自分の伝えたいことが正しく伝わらなかつたり、相手を傷つけたりする場合があることを認識した上で、言葉が持つ力を信頼し、国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度 ・我が国の言語文化に対する関心、及び、言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度 ・自ら進んで読書をし、読書を通して、知らないことを知ったり、経験のないことを体験したり、新しい考えに触れたりするなどして人生を豊かにしようとする態度 |

小論文等の書き方

書写に関する知識・技能

筆記具の持ち方、文字の形を整えて書く技能

様々な表現方法や伝達方法の特徴

文字を正しく整えて速く書く技能

表現方法や伝達方法の効果と使い分け

様々な文章の目的に応じた文字の書体や配置

実用的な文章の目的に応じた、効果的な文字の書体や配置

など

自分の思いや感情を多様な表現の中から言葉を選び、思いや感情を明確にしたり深めたりする力
テキストに含意された世界を、言葉の意味や感覚を手掛かりに、根拠をもって感じたり想像したりする力
自分の思いや感情を適切に言語化することで、思いや感情を明確にしたり、深めたり、望ましい方向にコントロールしたりする力

➤構成・表現形式に対して評価する力
(と同じ)

など

伝統的な言語文化に関する知識・技能

文語調の文章の特徴

昔の人のものの見方や感じ方

短歌や俳句、ことわざ、慣用句、故事成語

代表的な古典作品の種類や特徴

現代につながる古典や芸能の特質や意義

現代につながる言語文化の特質や意義

代表的な古典作品とその歴史的背景

文語のきまり、訓読のきまり

【他者とのコミュニケーションの側面】

➤相手の心を想像する力

自分の体験や感情を元に相手の心を想像する力
相手との関係性を理解し、相手の意図や内面を想像・推察する力

社会的な文脈において、相手との関係性を把握し、相手の意図や内面を想像・推察する力

➤構成・表現形式に対して評価する力
(と同じ)

など

話合いや話し方・発表に関する知識・技能

発音、発声、間の取り方

司会者、提案者の役割、協議の仕方

速度、音量、間の取り方の習熟

合意形成や結論を得るための方法

討論における議論の展開の仕方

発表に関する多様な手法とその効果

考えを形成する力(個人または集団として)

➤情報を編集・操作する力

対面する相手や具体的な目的に応じて、情報を選択する力
相手や目的に応じて、話題、題材などを設定し、情報を編集・操作する力

相手や目的に応じて、話題、題材、問題意識などを設定し、情報を編集・操作する力

など

情報活用に関する知識・技能

索引の利用、目次や奥付の見方

学校図書館の意義、役割

学校図書館やWebサイト等における情報検索の仕方

様々なメディアの特性と使い分け

学校図書館やWebサイト等により収集した情報の真偽や適否の確認、編集の仕方

➤新しい情報を、既に持っている知識や経験・感情に統合し、構造化する力

他者の思い・考えや新たな情報を、自分の思い・考えや既知の情報に照らして取り入れる力

社会生活における様々な情報を、既存の知識や経験・感情に基づいて解釈し、整理・構成する力

社会的文化的な背景を有する未知のテキストを、既存の知識や経験・感情に体系的に統合し、構造化する力

など

➤新しい問いを立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力

考えたこと、分かったことを元に、更に確かめたいこと、調べたいことを意識化する力

考えたこと、分かったことを元に、新しい問いを立てたり、新たな発想や主張を形成したりする力

既成の概念と異なる新しい問いを立てたり、他者と異なる発想や主張を独自の論理や表現によって確立したりする力